

第13回日本集団災害医学会総会 シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ採択結果

セッションNo.	セッション名	演題No.	代表演者名	演題名	日	時間	会場
S1	災害医療教育の現状と問題点	S1-1	石井 昇	医育機関における災害医学教育の現状と展望	11	13:45-15:45	中ホール300
		S1-2	山本 あい子	日本における災害看護教育	11	13:45-15:45	中ホール300
		S1-3	山口 孝治	日本集団災害医学会セミナー(JADMS)の災害医療教育に果たす役割	11	13:45-15:45	中ホール300
		S1-4	小原 真理子	地域住民と看護教育機関の協働を通して育つ防災教育	11	13:45-15:45	中ホール300
		S1-5	豊田 泉	医師会向け災害医療コースの開発	11	13:45-15:45	中ホール300
S2	災害医療におけるメディカルコントロール	S2-1	中山 伸一	災害医療におけるメディカルコントロールに重要性	10	9:55-11:40	中ホール200
		S2-2	松本 尚	成田国際空港緊急活動計画の全面改定に向けた試み	10	9:55-11:40	中ホール200
		S2-3	重光 修	地域DMATを視野においた災害医療における消防機関との連携訓練良好なメディカルコントロールのために	10	9:55-11:40	中ホール200
		S2-4	布施 明	海上医療活動におけるメディカルレギュレーションについての検討—海上保安庁旅客船多数負傷者事案対応訓練を見学して—	10	9:55-11:40	中ホール200
		S2-5	田中 淳	出雲地区救急業務連絡協議会における災害医療への取り組み	10	9:55-11:40	中ホール200
		S2-6	荒木 裕人	特別発言	10	9:55-11:40	中ホール200
S3	災害急性期における看護の役割	S3-1	佐藤 和美	被災地の病院から	10	14:25-16:10	大ホール
		S3-2	石井 美恵子	日本国際緊急援助隊医療チームにおける看護師の専門的役割	10	14:25-16:10	大ホール
		S3-3	川谷 陽子	災害急性期における救急看護師の役割	10	14:25-16:10	大ホール
		S3-4	山本 鉄也	新潟県中越沖地震におけるDMAT活動報告—看護師の立場から—	10	14:25-16:10	大ホール
		S3-5	上田 俊明	災害急性期の看護師の役割について～新潟県中越沖地震直後からの派遣を通して考える～	10	14:25-16:10	大ホール
		S3-6	山崎 達枝	急性期における避難所での高齢者支援	10	14:25-16:10	大ホール
P1	災害時の死亡について考える	P1-1	福永 龍繁	検死から身元の確認まで	10	16:15-17:45	大ホール
		P1-2	林 靖之	災害時の死亡について(黒タッグをつけた医師の立場から)	10	16:15-17:45	大ホール
		P1-3	橋爪 謙一郎	災害におけるエンバースメント	10	16:15-17:45	大ホール
		P1-4	村上 典子	災害における遺族へのグリーフケア	10	16:15-17:45	大ホール
		P1-5	安井 美佳	遺族ケアを含めた災害医療のあり方について—災害現場活動を含む2年間の体験を通して—	10	16:15-17:45	大ホール
P2	災害時の健康危機管理と保健所・保健センターの役割	P2-1	中瀬 克己	健康危機時における保健所の役割と準備の現状	10	16:05-17:35	101
		P2-2	堀井 淳一	地震の場合(新潟県柏崎保健所)	10	16:05-17:35	101
		P2-3	宇田 英典	水害の場合(鹿児島県鹿屋保健所)	10	16:05-17:35	101
		P2-4	内藤 万砂文	新潟県では「保健所長が災害医療コーディネーター担当」ことを決めた！— 中越地震と中越沖地震で何が変わったか？ —	10	16:05-17:35	101
		P2-5	北京市CDC	特別発言	10	16:05-17:35	101
W1	DMAT運用の現状と問題点	W1-1	本間 正人	日本DMATの現状と課題; 緊急医療援助法制の構築の必要性	11	9:55-11:25	大ホール
		W1-2	熊谷 謙	新潟県中越沖地震における統括DMATの経験	11	9:55-11:25	大ホール
		W1-3	上條 幸弘	新潟県中越沖地震での諏訪赤十字病院救護班の救護活動—DMATと赤十字救護班—	11	9:55-11:25	大ホール
		W1-4	小川 理	DMATはどうやって参集拠点に集まるべきか—中越沖地震におけるアンケート集計による検討—	11	9:55-11:25	大ホール
		W1-5	大津谷 耕一	DMATを何隊持てば、遠隔地派遣が容易になるのか	11	9:55-11:25	大ホール
W2	災害拠点病院運用の現状と問題点	W2-1	池内 淳子	災害拠点病院の防災力向上を目的としたデータベースの構築	11	13:45-15:15	101
		W2-2	白子 隆志	災害拠点病院としての赤十字病院の役割と課題	11	13:45-15:15	101
		W2-3	高桑 大介	行政主催による会場型訓練における災害拠点病院と地域の災害医療連携	11	13:45-15:15	101
		W2-4	神頭 定彦	非被災地災害拠点病院の効果的運用—新潟県中越沖地震における亜急性期医療支援から—	11	13:45-15:15	101
		W2-5	福里 富美子	災害拠点病院の職員に対する災害意識向上への取り組み	11	13:45-15:15	101
W3	後方支援	W3-1	中田 正明	医療チーム派遣時の派遣元医療機関による後方支援～新潟県中越沖地震からの考察～	10	13:20-14:50	中ホール300
		W3-2	峯田 雅寛	DMAT派遣元病院における後方支援の経験	10	13:20-14:50	中ホール300
		W3-3	安田 清	DMAT支援隊in静岡	10	13:20-14:50	中ホール300
		W3-4	定光 大海	大規模災害時の国立病院機構の役割	10	13:20-14:50	中ホール300
		W3-5	三浦 裕之	日本赤十字社長野県支部による平成19年新潟県中越沖地震日本赤十字社新潟県支援部現地災害対策本部への支援	10	13:20-14:50	中ホール300
W4	災害医療従事者のアメニティ向上	W4-1	清水 京美	茨城県における消防職員のストレスと心理行動パターンとの関連性	11	13:45-15:00	102
		W4-2	中田 敬司	国際緊急援助隊医療チームにおける調整員についての課題検討	11	13:45-15:00	102
		W4-3	中尾 博之	ジャワ中部地震における災害医療チームのアメニティ対策	11	13:45-15:00	102
		W4-4	榎原 康弘	日本赤十字社救護班の傷害・死亡時の補償制度は十分なものとはいえない	11	13:45-15:00	102
W5	非医療従事者を災害医療にどのように取り込むか	W5-1	中田 敬司	自主防災組織における救護班の研修訓練と災害時活用の可能性について	11	9:00-10:20	中ホール300
		W5-2	安田 清	東海地震に対して市民の自立を求める試み	11	9:00-10:20	中ホール300
		W5-3	青木 克憲	集団災害のフェーズ0における市民との医療連携のあり方	11	9:00-10:20	中ホール300
		W5-4	萩野 隆史	NPO法人群馬救急医療推進協会による災害医療活動	11	9:00-10:20	中ホール300
PreC	台風	PreC	中澤 哲夫	台風	9	18:00-19:00	中ホール300
特別	UNHCRの難民支援と医療支援	特別	滝澤 三郎	「UNHCRの難民支援と医療支援」要旨	10	12:30-13:20	大ホール
E1	惨事ストレス	E1	松井 豊	惨事ストレス	10	17:50-18:40	大ホール
E2	災害医療におけるアマチュア無線の役割	E2	及川 忠人	災害医療におけるアマチュア無線の役割	11	12:30-13:15	中ホール300